

表紙・目次・索引

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	開発途上国と財政 - 歳入出, 債務, ガバナンスにお ける諸課題 -
発行年	2010
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00011525

Kenkyu Soshu No.583

研究
双書

開発途上国と財政

歳入出,債務,ガバナンスにおける諸課題

柏原千英:編

IDE-JETRO アジア経済研究所

研究双書 No. 583

柏原千英編 『開発途上国と財政——歳入出, 債務, ガバナンスにおける諸課題——』

Kaihatsu-tojōkoku to Zaisei: Saishutsunyū, Saimu, Gabanansu ni okeru Shokadai
(Fiscal Issues in Developing Countries: Revenue and Expenditure, Debt and Governance)

Edited by

Chie KASHIWABARA

Contents

Introduction Some Aspects of Fiscal Issues and Developing Countries (Chie KASHIWABARA)

PART I INSTITUTIONAL DESIGN AND REFORMS IN (TAX) REVENUES AND DISTRIBUTION

- Chapter 1 Issues of Philippine Taxation (Yurika SUZUKI)
Chapter 2 The Development of Market Economies and Revenue Assignment to Central and Local Budgets in Vietnam (Kiyohito HANAI)
Chapter 3 Exogenous Rents and Fiscal Performance in Egypt (Ichiki TSUCHIYA)
Chapter 4 An Evaluation of Fiscal Operation in Korea after the Financial Crisis (Joongho KOOK)
Chapter 5 Inflation Tax, Seigniorage due to Economic Growth, and Fiscal Revenue in Developing Countries (Kōzō KUNIMUNE)

PART II DEBT MANAGEMENT AS A MEDIUM- TO LONG-TERM ISSUE

- Chapter 6 Strategies for a Sustainable Public Debt Management: A Case of Malaysia (Rika NAKAGAWA)
Chapter 7 Issues of Public Debt Management and Fiscal Administration Process in the Philippines (Chie KASHIWABARA)

PART III GOVERNANCE AND POVERTY ALLEVIATION IN BUDGETING

- Chapter 8 Dynamic Analysis of Improving Fiscal Governance (Kazuhiko OYAMADA)
Chapter 9 Gender Budgets and Governance (Hiroki NOGAMI)

[Kenkyu Soshō (IDE Research Series) No. 583]

Published by the Institute of Developing Economies, JETRO, 2010

3-2-2, Wakaba, Mihama-ku, Chiba-shi, Chiba 261-8545, Japan

目 次

まえがき

序章 開発途上国と財政をめぐる問題の諸側面	柏原千英	3
第1節 本書のねらい		3
第2節 本書の構成		6
第3節 各章のまとめ		10
おわりに——多元化する経済開発の諸施策と財政問題——		15

第I部 歳入（税収）と再分配における制度設計と改革

第1章 フィリピンにおける租税制度の課題	鈴木有理佳	21
はじめに		21
第1節 財政の概況		22
第2節 租税の概況		25
第3節 所得課税		30
第4節 消費課税		36
おわりに		45

第2章 ベトナムにおける市場経済化と政府間歳入割当		
	花井清人	53
はじめに		53
第1節 財政連邦主義の理論とその発展		54
第2節 市場経済化と政府間歳入割当		58

第3節	ベトナムにおける中央・地方予算での歳入確保の課題	61
	おわりに	71
第3章	エジプトにおける外生的レント収入と財政運営	
	土屋一樹	79
	はじめに	79
第1節	エジプトとレント	80
第2節	レントの盛衰と財政	86
第3節	経済改革の進展と財政改革（2004年～）	93
	おわりに	101
第4章	韓国における経済危機以降の財政運用——特徴とその評価——	
	鞠 重鎬	107
	はじめに	107
第1節	先行研究と本章のねらい	109
第2節	国の財政運用とその評価	110
第3節	地方の財政運用とその評価	114
第4節	地域間財政配分の特徴	122
第5節	まとめと今後の財政運用の展望	126
第5章	インフレ税，成長に伴う通貨発行益（シニョリッジ）と 途上国財政	国宗浩三 135
	はじめに	135
第1節	通貨発行益の特殊性	136
第2節	先行研究とその中心的課題	138
第3節	通貨発行益の分解	139
第4節	データ・通貨発行益の国別平均・パネル分析	143
第5節	考察	158

おわりに	160
補論	161

第Ⅱ部 中長期的課題としての債務管理

第6章 マレーシアにおける公的債務管理の制度的枠組み	
.....中川利香	169
はじめに	169
第1節 マレーシア財政の概観	172
第2節 公的債務管理のあり方——IMF・世界銀行の論点を中心に——	
.....	178
第3節 マレーシアの公的債務管理	181
第4節 国債市場の育成	187
おわりに——政策インプリケーション——	190
第7章 フィリピンにおける公的債務管理と財務行政の課題	
.....柏原千英	197
はじめに	197
第1節 公的債務と財政収支の推移	198
第2節 公的債務管理への批判と政府の施策	206
第3節 予算行政過程と監査における課題	211
第4節 公的債務管理の制度化に向けて	215
おわりに——フィリピンにおける課題とインプリケーション——	217

第Ⅲ部 ガバナンスおよび貧困削減と財政

第8章 財政ガバナンスに関するマクロ経済分析……小山田和彦……	229
はじめに……	229
第1節 ガバナンスの諸要素と経済成長に関する先行研究……	232
第2節 モデル……	237
第3節 経済の動学システムと制度変更の経済効果……	247
第4節 主要な発見と今後の展望……	260
第9章 ジェンダー予算とガバナンス……野上裕生……	269
はじめに……	269
第1節 問題の所在……	270
第2節 ジェンダー予算の経済学的基礎……	275
第3節 ジェンダー予算の管理と評価の課題……	278
おわりに……	286
索引……	291

【あ行】

移行経済

- とガバナンス構造 56
- と経済／財政システム改革 53, 54, 71, 72
- と通貨発行益 13, 143, 144
- と分権化 11
- の財源配分 58-60

移転財源

- への依存 108, 119
- (中央政府からの) ——の増加 107, 113-116, 127
- 地方歳出・所得と—— 121, 122, 127

インフレ (インフレーション)

- 税と通貨発行益 13, 136, 139, 143, 152-158
- の税率 135, 142, 152-156, 158-160
- のタックスベース 141, 142
- ハイパー—— 138

ODA (政府開発援助) 83, 106, 198, 213, 216, 218, 221, 287

汚職

- と経済成長 10, 233-236
- 防止法 231
- 「——撲滅委員会」(KPK) 231
- 公共事業と—— (の抑制) 14, 231, 237, 245, 247, 257-260

【か行】

会計監査委員会 (COA) 208, 209, 212, 215-217, 222, 224

外生的収入 79, 80

外部性 72, 276-278, 283

「カスケード効果」 37→租税も見よ

課税ベース 238

- の一貫性 40
- の移動 59
- (の) 拡大 11, 33, 38, 46, 157

インフレ税の—— 140

広い—— (と低い税率) 129

関税

- の減収 29, 87, 88
- (の) 引き下げ 21, 45, 48, 63, 98, 172, 173

財政構造と—— 273

間接税→関税。付加価値税も見よ

- と汚職の発生率 236
- による税収増 34
- 個別—— 37, 38
- 税源としての—— 25-28, 59, 87-89, 172, 236
- 包括的な—— 273→付加価値税も見よ

ガバナンス

- (の) 向上・改善 231, 239, 247, 257
- の質 230
- 援助供与と—— 5, 16
- 公的 (部門) —— 17, 56
- 財務 (財政) —— 12, 14, 102, 219
- ジェンダーの視点と——改革 273, 276
- ジェンダー予算と—— 270
- 政府間財政—— 54, 65

企業

- 献金 14, 231, 237, 245-247, 257
- の社会的責任 (CSR) 230, 265

キャッシュ・フロー 180, 185, 186

キャッシュ・ベース 207, 211, 212, 216

偶発債務 (隠れた債務) 47, 198

- 管理 13, 14, 190, 215, 216
- のカバレッジ 14, 208
- の増加と財政の不安定性 93
- の定義 181, 202-205,
- の発現 (リスク) 208, 209, 217, 218
- 問題 9

クローニー (取り巻き) 231

- キャピタリズム (crony capitalism)

230
 経済（システム）改革 53, 54, 57
 「——・構造調整プログラム（ERSAP）」
 84, 91-93
 ——と歳入／税制改革 60, 61-64, 98-100
 「経済開発費」 107, 117-119, 121, 126, 127, 131
 献金→ロビー活動も見よ
 ——効果 241, 242,
 ——支出／額の決定 14, 244-247, 257, 260
 合法および非合法の—— 231, 238, 241
 闇—— 238, 241, 242, 257
 ロビー活動や——への規制 253, 254
 公共財 15, 232, 286
 ジェンダー予算と—— 277, 278
 地方——財 55, 59, 116, 261, 262
 公共事業 12, 17
 ——支出と汚職 230, 231, 235, 236, 245-247, 257-260→企業献金も見よ
 ——支出に占める地方政府の割合 249-253
 ——予算の配分 238, 239, 241-243
 公債依存度 175
 厚生 277, 286
 ——水準 14, 55, 230, 232, 252, 257, 260, 261, 264
 家計の——水準 14, 252, 253, 257, 260, 261
 経済——のジェンダー格差 286
 国民全般の—— 3
 個人の（経済）——水準 272, 277
 社会的——水準 260
 福利——関連支出 233
 公的債務管理
 「——ガイドライン」（Guidelines for Public Debt Management） 178-180, 187, 219
 ——管理局（Public Debt Management Office） 180→債務・リスク管理オフィス（DRMO）も見よ
 Cobb-Douglas 型 248, 252
 ——技術 243

【さ行】

財政
 ——運営（主として、歳入や補助金等の再分配のあり方、または各年度の最終決算が黒字／赤字、の意） 5, 10-13, 23, 57, 79, 80, 100-102, 122, 127, 229-231, 237, 247, 260
 ——運用（主として、歳出における中央＝地方政府間での移転やその方法、の意） 12, 107-110, 113, 114, 116, 117, 120, 126, 128-130, 132, 133
 ——危機 23, 24, 29, 32, 198, 199, 202
 ——規律法 211, 212
 ——再建 12, 23, 29, 89, 91, 101
 政府間——関係 55
 レンティア国家の——運営 84-85, 93
 →レント、レンティア国家も見よ
 債務・リスク管理オフィス（DRMO） 210, 215, 216, 218, 220, 221
 参加
 「——政府」 128
 社会的弱者の社会—— 15, 282
 女性の労働力—— 273, 275, 277, 284
 政策への—— 269, 272
 予算作成への—— 270
 （地方政府の）自主財源 108, 114, 125, 127
 市場
 ——経済化 4, 6, 11, 16, 53, 54, 56, 58, 60-62, 65, 71, 72
 ——保全的連邦主義 56, 57, 73
 社会
 「——開発費」 107, 117-119, 121, 126-128, 131
 ——主義 11, 53, 54, 57, 60, 86
 ——的厚生 249, 252, 256, 264
 消費課税 11, 21, 27, 29, 33, 34, 36, 37, 45, 46, 191→所得税も見よ
 所得
 ——課税 21, 22, 25-27, 30-36, 45, 111, 118, 191
 ——税 11, 16, 25, 26, 33, 34, 36, 48, 59, 63-65, 67, 70, 72, 74, 82, 83,

88-91, 95, 96, 98-100, 111, 123, 191, 273
 給与—税 239, 242, 246, 253, 254, 261
 個人—税 25, 33-36, 45, 59, 62, 63, 65, 67, 70-72, 89, 98, 99, 111, 112, 172, 191
 ジェンダー→参加も見よ
 —開発指数 (Gender Development Index) 284, 285
 —開発指標 283, 284
 —の視点 272
 —予算 15, 269-271, 272, 275-282, 284, 286
 シニョリッジ 12, 135, 136, 144, 155
 成果主義 15, 269, 272, 277, 278, 282, 283
 政策一貫性 15, 269, 272
 政策関与 236-238, 261, 262
 税制改革 4, 10, 11, 21, 22, 27-29, 32, 33, 36, 45, 46, 56, 62, 91, 97, 128, 129, 170, 197, 207, 219→租税改革も見よ
 税務行政改革 100
 1957年財政手続法 (Financial Procedure Act 1957) 186
 1983年政府資金調達法 (Government Funding Act 1983) 184
 租税 6, 10-13, 21, 37
 —一元管理 70, 71
 —改革 16, 62, 63, 100
 —外収入 23, 24, 88-90, 95, 273
 —構造 22, 25, 26, 49, 133, 274, 288
 —収入 10, 21-29, 45, 46, 85, 88, 102, 103, 109, 110, 186
 —政策・制度 93, 102
 —動向 27-30
 —の公平性 33, 34
 —負担率 111, 130
 —優遇措置 49
 —割当 58-60

【た行】

ターゲットイング 15, 269, 271
 地域

—間財政配分 122, 130
 —所得 108, 118-120
 地方
 —歳出 108, 116, 117, 119, 121, 122, 125, 126, 131
 —財政 9, 113-122, 125-127
 —歳入 114-116, 119, 121, 127
 —税 59, 63, 72, 107, 110, 114-122, 124-127
 —分権化 6, 11, 14, 54, 56, 58, 60, 65, 71, 72, 230, 231-233, 237, 243, 247, 249
 直接税 25-26, 59, 95, 172, 273→税制改革, 租税も見よ
 直間比率 172→租税も見よ
 通貨発行益 (シニョリッジ) →インフレも見よ
 インフレと— 13, 136, 139, 143, 152-158
 成長に伴う— 12, 13, 135-137, 140-144, 152-159, 160
 —の国別平均 143, 144
 —の増収 159, 160
 —の分解 139-143
 動学的 110, 262
 —移行経路 14, 230, 237, 260
 —均衡経路 247, 248
 ドイモイ政策 61

【な行】

内国消費課税 27-29
 農水産開発 117-121, 131

【は行】

配分国家 (allocation state) 12, 85, 89, 93, 101→レンティア国家も見よ
 被雇用者年金基金 (EPF) 177, 187, 188, 191, 192
 貧困削減 15, 16, 17, 74, 269, 270, 271, 277→ガバナンス, ジェンダー, ミレニアム開発目標も見よ
 —戦略 5

- ガバナンスと—— 10
- 女性の—— 286
- 成果主義と—— 282
- 付加価値税 (VAT) 11, 16, 22, 25, 27, 29, 36-43, 45, 46, 48, 59, 70, 72, 73, 100, 111, 123, 131, 132
 - と汚職発生率 236
 - VAT の導入 62-65
- 物品税 22, 37, 43-45, 172, 173, 191
- 法人(所得)税 30-33, 45, 63, 88, 99, 111, 172, 261, 263, 273
 - 収入 112, 131
 - の脱税 238, 243, 257
 - の引き下げ 27, 132
 - 率 21, 47, 239, 242, 253, 254, 264
- 補助金 23, 47, 57, 58, 60, 74, 85, 86, 128, 173, 191, 201, 220, 236
 - 依存 24
 - 移転 25, 88, 89, 113, 116
 - 削減 91-93, 98, 99, 197
 - 支出 96, 97, 103, 104,
 - 政策 16
 - 制度の合理化 100
- 特定目的—— 59, 71

【ま行】

- ミレニアム開発目標 (MDGs) 5, 10, 15, 16, 270, 278, 280, 281, 286-288

【や行】

- 予算
 - 執行 12, 129, 207, 211, 212, 215, 219
 - 執行過程 14
- 国家——法 65, 68, 74
- ソフトな——制約 57

【ら行】

- 利益 85, 184
 - 集団 231, 236, 254
 - の相反 17
 - 誘導 238, 242, 263
- 経済成長の—— 34
- 公共的な—— 278, 283,
- 社会的—— 276, 280, 288
- 連結公的部門赤字 211
- レンティア国家 12, 84, 85, 93, 102, 103
 - レントも見よ
- レント
 - ・シーキング (活動) 57, 234
 - 収入 12, 80-85, 95-97, 99
 - と財政 86-92
 - 外生的—— 11, 85, 95-97, 100-102
- ロビー活動 10, 14, 230, 231, 237, 238, 241, 244, 246, 247, 253, 254→汚職, ガバナンス, 献金, 利益も見よ
 - による利益誘導 236
 - の有効性 257

かしはら ちえ
柏原 千英 (アジア経済研究所開発研究センター開発戦略研究
グループ)

すずき ゆりか
鈴木有理佳 (アジア経済研究所地域研究センター東南アジア I
研究グループ)

はな い きよひと
花井 清人 (成城大学経済学部教授)

つちや いちき
土屋 一樹 (アジア経済研究所地域研究センター中東研究グル
ープ)

くつく じゅんほ
鞠 重鎬 (横浜市立大学国際総合科学部准教授)

くにむね こうぞう
国宗 浩三 (アジア経済研究所国際経済研究グループ長)

なかがわ りか
中川 利香 (東洋大学経済学部准教授)

おやま だかずひこ
小山田和彦 (アジア経済研究所国際経済研究グループ)

のがみ ひろき
野上 裕生 (アジア経済研究所開発研究センター専任調査役)

—執筆順—

開発途上国と財政

—歳入出、債務、ガバナンスにおける諸課題— 研究双書No.583

2010年1月25日発行©

定価 [本体3600円 + 税]

編者 柏原千英

発行所 アジア経済研究所
独立行政法人日本貿易振興機構

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2 〒261-8545

研究支援部 電話 043-299-9735

FAX 043-299-9736

E-mail syuppan@ide.go.jp

http://www.ide.go.jp

印刷所 日本ハイコム株式会社

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

無断転載を禁ず

ISBN978-4-258-04583-9

「研究双書」シリーズ

(提示した価格は税込み価格です)

570	アジアにおけるリサイクル 小島道一編 2008年 382p. 4935円	リサイクルに関する取組みが進んでいるアジア地域において、リサイクル産業のフォーマル化、再生資源貿易の拡大への対応が共通の課題となっていることを明らかにする。
571	アジア諸国の鉄鋼業 発展と変容 佐藤創編 2008年 351p. 4620円	昨年変化の著しい鉄鋼業。アジア各国それぞれの現状と課題を発展過程をたどることによって読み解き、鉄鋼業の検討からアジアの産業発展を再考する。
572	韓国主要産業の競争力 奥田聡・安倍誠編 2008年 255p. 3360円	通貨危機を克服した韓国はサムスン、LGなど世界的ブランドを輩出するに至っている。中国に追撃され日本と激しく競合しつつも成長を続ける韓国産業の実力を診断する。
573	戦争と平和の間 紛争勃発後のアフリカと国際社会 武内進一編 2008年 400p. 5355円	アフリカの紛争解決はどう進められてきたのか。平和に向けた国際社会の関与はいかなる成果と課題を残したのか。アフリカの紛争と平和構築を考えるための必読書。
574	台湾の企業と産業 佐藤幸人編 2008年 325p. 4305円	過去20年大きく変容した台湾経済を多面的に分析。地場民間大企業など各種企業、新興製造業のTFT-LCDと携帯電話端末、サービス業では金融と航空貨物に注目した。
575	オーストラリアの対外経済政策とASEAN 岡本次郎著 2008年 316p. 4200円	オーストラリアの対ASEAN政策とその変化を国内外の政治経済ダイナミクスを通して分析し、東アジア統合への参画を模索する同国の対外経済政策を浮き彫りにする。
576	岐路に立つIMF 改革の課題、地域金融協力との関係 国宗浩三編 2009年 248p. 3255円	アジア通貨危機などの大規模な資本収支危機の経験から、IMFは何を学び、また、学ばなかったのか。IMFの改革に向けた課題、地域金融協力との関係について探る。
577	アジア開発途上諸国の投票行動 亀裂と経済 間 寧編 2009年 332p. 4305円	アジア途上国で有権者は何を基準に政権選択をしているのか。5カ国の定量分析により、政権の経済実績や社会の亀裂の重要性と、先進国との違いを明らかにした。
578	地域の振興 制度構築の多様性と課題 西川芳昭・吉田栄一編 2009年 260p. 3465円	地域興し運動では地元のエニシアチブが重要であるが、同時に外部者の関わり具合が成否の鍵となる。外部者が積極的に関わった各地の運動で、その成果はどう現れたのか。
579	変容するベトナムの経済主体 坂田正三編 2009年 288p. 3780円	激変する経済・社会環境に戦略的に対応しながら生き残りや成長を模索するベトナムの経済主体。その姿を描き出すことを通じて、ベトナムの経済発展の現状を再評価する。
580	インド民主主義体制のゆくえ 挑戦と変容 近藤則夫編 2009年 410p. 5250円	インド民主主義体制の現実を議会制度、労働運動、後進階級、草の根自治、地域主義、辺境の自治、ヒンドゥー民族主義、テロ問題、農村の極左武装闘争等から多面的に分析。
581	現代アフリカ農村と公共圏 児玉由佳編 2009年 307p. 3990円	1980年代以降経済自由化や民主化によってサブサハラ・アフリカの農村は大きく変容しつつある。詳細な現地調査に基づいて農村の社会変容を公共圏の視点から読み解く。
582	ポスト民主化期の台湾政治 陳水扁政権の8年 若林正丈編 2009年 342p. 4410円	2000年、歓喜に包まれて生まれた陳水扁政権は、なぜ、2008年、失望にまみれて退場することになったのか。台湾と東アジアにとって、この8年間は何だったのか。